



子どもたちの、そして、学校の「危機対応能力」の向上をめざして



3月11日には東日本大震災でお亡くなりの方々のご冥福を祈り全校児童と教職員で黙禱を捧げました。

避難訓練のようす(津波発生、校舎3階へ避難)

3月4日(水)に地震・津波の避難訓練を行いました。真剣に取り組む子どもたちの姿に、この1年間の成長を感じることができました。この機会をご家族で防災について話し合う良いチャンスにさせていただきたいと考え、お子さんが学んだことを家で話したり、保護者の方からメッセージや感想をいただいたりすることとしました。保護者の皆様の声を一部紹介します。

地震・津波について話し合った感想・お子さんへのメッセージ

1年生の保護者から

学校で習ったことをしっかりと話して伝えてくれました。家の中で起こったときに危険なことを話しました。このような機会をいただき、ありがとうございました。

大きな地震や津波が起こったら…。家族と一緒にいた場合、おうちの人の言うことを聞く。学校等にいた場合は、先生や大人の言うことをよく聞き、行動する。勝手な行動をしないようにと話しました。学校からいただいた非常食を一緒に食べ、もしものときは分け合って食べることがあるかもしれないことを話しました。

2年生の保護者から

いざというときの状況をすぐに判断して行動できることを期待します。ペットもいるのでやる人が多いかもしれませんが、誰かがやるのではなく自分からやるという気持ちが伝わりました。

まだ大きな揺れも経験したことのない災害に備えるにのイメージがわからないと思うけど、いつ起こるか予測できない分、日頃から学校での訓練、TVや外からの情報にも注視して、いざというときに動ける備えをしておこうね。昼間とか家族が離れているときに、災害にあったら、まず周りの大人を頼ろうね。

3年生の保護者から

子どもと災害について細かく話のできたので、よかったですと思いました。子どもは「人生ってこわいなあ…」と言っていました。リスクを知って、準備をしたうえで、楽しく生きていくことが大切なんだよと話しました。よい機会をつくっていただき、ありがとうございました。

学年が上がるにつれて、一人で行動することも増えてきます。家族と一緒に、大人(学校の先生など)と一緒にいるときはその指示にしたがうし、一人のときは自分で考え、自分で行動しないといけません。日頃から「今、地震が起きたらどうするか?」など考えて、防災に対する意識が習慣化することが「自分の生命を守る」ことにつながるのだと伝え続けたいと思います。また、今度、一緒に考えながら、防災グッズをそろえる経験をしたいです。よい機会をいただきました。

【裏面につづく】

4年生の保護者から

学校で学んだことをしっかり生かせるように、子どもから学校で実際にみたことや聞いたことなどを一緒に再確認しました。家で用意している防災セットの場所や中身もきちんと確認して、危険なことや避難についても話し、防災に対する意識を高めることができました。

実際に想定してシミュレーションしてみると、具体的な動き・人・場所・連絡手段等・・・確認しておかなければならないことが、たくさんあることに気付きました。子どもや家族の命を守る行動ができるよう、また一緒に話し合い、一緒に準備をしたいと思います。

5年生の保護者から

地震や津波という自然災害は予測もできず、また被害もすごく大きいということをニュースなどで観たときに、他人事ではなく、いつか自分たちの住んでいる町にも起こるかもという意識・気持ちをもっているだけで、起きたとき、少しは冷静な判断ができるのではないかと話し合いをしました。

家族で話し合ったことで、改めて準備や話し合いを日頃からしておくことは大事だと思いました。家族でも、子どもから教えてもらった「お・は・し・も」を合い言葉にしたいと思います。

6年生の保護者から

日頃からいざというときに備えておくことが大切だねと話しました。ひとりひとりが自分の命を守るためにどうすればよいか、家族で話した約束をいつも頭の片隅に入れておこうと思います。

市から配布されたハザードマップを家族みんなで確認し、自宅の位置、津波到達想定区域、浸水予測レベルを把握し、避難場所の再確認ができました。いつ発生するか分からない地震や津波に対して、家族で改めて話し合い、避難場所の確認を行うとてもよい機会でした。定期的に必要な活動だと感じました。

ひまわり・あおば学級の保護者から

「地震がきたらどうする？」と聞くとすぐ「机の下にかくれる！」と返ってきました。津波のイメージができているかは分かりませんが、映像を見せ、高台に逃げることを伝えました。家族がそろっているときは同じ行動がとれますが、皆がバラバラなとき、皆がそれぞれに同じ行動をとっていること、時間がたてば必ず会えるということ、さまざまなイメージをもって話し合いました。想像をしていくと、当たり前な毎日が幸せに感じました。

このたび地震や津波が起こったときの行動を家族で話し合うことがはじめてできました。学校で学んだことや家庭で話し合ったことを守り、あわてずに落ち着いて行動をとっていこう、いつ起こるかわからない災害なので事前に避難場所の確認や防災グッズの準備など備えをしておこうと思いました。先生や家族の指示に従い、決して一人で行動しないようにしてほしいと思います。

ご提出いただいたどの振り返りカードからも、ご家庭で熱心にお子さんと話し合っていたことが伝わってきました。大変うれしく思います。

本校教育の重点目標の一つ「防災・危機対応能力の向上」に向け、来年度も取組を充実させていきたいと思っています。

お忙しい中、ご協力をありがとうございました。

